

学校共催 焼き杉体験

〈令和3年11月12日(金)、13日(土)〉

【目的】

学校では体験することが難しい学習プログラムを企画・提案し、児童・生徒に多様な学習機会を提供するとともに、野外活動センターの新規体験プログラムの開発を目的として実施する。

【共催】

広島市立八幡小学校 5年生 57人(11月12日(金))

広島市立八幡小学校 5年生 56人(11月13日(土))

【プログラム内容】

10:30 説明

10:40 焼き杉体験、絵付け体験

11:40 片付け、まとめ

「火おこし」



火が起こりやすいように、かまどに薪や木端、牛乳パックをセットし点火しました。火を起こすための薪の組み方を学びました。

「杉焼き」



火ばさみで挟んだ杉板をかまどの火にくべて、表面がしっかりと焼けるまで丁寧に焼きました。

「杉板の消火」



表面を焼いた杉板を、トロ箱に入れた砂で消火しました。子どもたちは砂で火が消えることに驚いていました。

「杉板磨き」



ワイヤーブラシと新聞紙で杉板の炭化した部分を磨き落としました。

「絵付け体験」



新聞紙で研磨しツルツルになった杉板の表面に、アクリル絵の具で名前を記入したり、風景やイラストを描いたりし、思い思いの作品を作りました。